



おおたの教育

はねびよん©大田区

発行 / 大田区教育委員会 〒144-8623 東京都大田区蒲田5丁目37番1号ニッセイアロマスクエア5階 TEL03-5744-1111(代表) HP <http://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>

今号の主な内容

- 1面 平成29年度教育予算の概要
- 2面 教育委員長所信表明
- 3面 東六郷小・志茂田中新校舎完成
- 4面 平成28年度教育実践功労者表彰

平成29年度スタート、ICT整備に予算12億円



非常勤講師の配置時数も大幅拡大

3月24日、大田区議会が平成29年度予算を議決しました。区一般会計予算の総額は、2619億円、そのうち教育関係予算は253億円となっています。

新年度の教育予算では、区立小・中学校のICT環境整備に12億円を充てています。具体的には、区立小・中学校の全ての普通教室(1300教室)に無線LAN、スライドレール型電子黒板、書画カメラを配備するほか、教員1人あたり1台の指導用タブレットPC(全2165台)を配備。児童・生徒用タブレットPCを1校あたり1学級分の40台、大規模校については80台(全4020台)を配備します。大田区教育委員会では、平成27年度からICT活用推進

モデル校により、授業での効果的なICT機器の活用について研究してきました。この間、モデル校では、授業への興味・関心が高まり、多くの学年で学力の向上が見られたことから、全校展開することとしたものです。

このほか非常勤講師を増員して、習熟度別少人数指導や補習教室の充実を図るほか、小学校においては、実験・観察を補助する理科支援員の配置時数を拡大、中学校においては、各校を巡回して理科授業の助言・指導やチーム・ティーチングを行う指導員を配置して、苦手な子どもの多い理科の学力向上を推進していきます。

～学力向上が子どもの未来を拓く～ 平成29年度教育予算の概要

～教育活動の充実～

★全小・中学校ICT環境整備 11億7,584万円

全ての小・中学校の普通教室、特別教室、体育館などに無線LAN環境を整備するとともに、スライドレール型電子黒板、書画カメラを普通教室に各1台配備します。

また、タブレット端末を教員1人あたり1台、児童生徒用に1校あたり40台(大規模校は80台)配備し、最新の教育環境を提供します。



★習熟度別少人数指導及び放課後補習教室の充実 1億1,721万円

小・中学校の習熟度別少人数指導の講師を増員し、少人数によるきめ細かい指導の充実と確かな学力の定着を図ります。中学校では学習指導講師の配置時間を増やし、放課後補習の充実を図ります。

★小学校第3学年外国語活動導入による指導員の増員 1,190万円

平成32年度から実施される新しい学習指導要領に備え、小学校第3学年の外国語活動を現在の年12時間から35時間に増やすとともに、外国語教育指導員の配置も年12時間から25時間に増やし、国際都市おおたにふさわしい人材の育成を目指します。

★小学校理科支援員の拡充 1,219万円

区立小学校の第3学年から第6学年の全学級に理科支援員を配置して、観察・実験の授業を充実させ、実感を伴った理解を図ります。



★中学校理科教育指導員の配置 743万円

中学校理科指導を専門とする非常勤職員を区立中学校28校に派遣し、理科教員への指導・助言を行い、授業力の向上を図ることで、生徒の自然科学への興味・関心を高めます。



★小学校理科授業力向上研修の充実 96万円

教育系の大学教授による観察・実験の実技演習などの専門研修を実施し、小学校教員の指導力の向上を目指します。

★小学校における放課後児童の居場所づくり(放課後子ども教室) 8億6,148万円

区立小学校施設を活用して、放課後を安全・安心に過ごせる居場所づくり「放課後子ども教室」を新たに21校で開設し、改築計画進行中の4校を除く55校で実施します。

～施設・環境の整備～

★計画的な校舎の改築 34億76万円

良好な教育環境の確保とともに老朽化に対応するため、平成29年度は、新たに田園調布小学校、東調布中学校の改築計画に着手し、既に設計や工事等に取り組んでいる以下の8校を含め全10校の整備を進めます。

- ①東六郷小学校②志茂田小学校③志茂田中学校④大森第四小学校⑤大森第七中学校⑥入新井第一小学校⑦東調布第三小学校⑧赤松小学校

○小学校通学路の防犯カメラ設置 3,837万円

平成26年度から小学校通学路に防犯カメラの設置を進めてきましたが、平成29年度は19校に設置し、全ての区立小学校への設置が完了します。

★六郷図書館の改築 4億1,339万円

老朽化に対応するため改築を進めています。地域の情報拠点として、また、すべての区民の学びの場として整備していきます。平成30年度開館予定です。

事業名の前に★印が表記されているものは、「おおた未来プラン10年」「おおた教育振興プラン2014」に掲げる計画事業です。

問合先 教育総務課庶務係
TEL 5744-1422
FAX 5744-1535

区議会第1回定例会 教育委員長所信表明

～ 3つの重点施策を推進～ 「確かな学力の定着」「学習環境の改善」「家庭教育力向上に向けた支援」



発言する藤崎委員長

平成29年第1回区議会定例会初日(2月17日)、藤崎委員長が登壇し、教育委員会の平成29年度の取組について所信表明いたしました。

《平成29年度の取組方針》「学力向上が子どもの未来を拓く」をテーマとして「確かな学力の定着」、「学習環境の改善」、「家庭教育力向上に向けた支援」の3つを重点施策として推進してまいります。

①「確かな学力の定着」

《学力低位層の学力向上》習熟度別少人数指導の実施において、習熟度別クラスの人数が25人以上となってしまう学校に講師を増員し、多人数にならないように配慮して、一人ひとりの学力に合わせた指導を確実に行ってまいります。さらに、中学校では放課後に実施している補習の時間数を増やすため、講師を必要な学校に増員してまいります。

《理科の実験・観察の質的向上》実践的な研修を強化して教員の指導力の向上を図るとともに、小学校では実験・観察を補助する理科支援員の配置時数を増やし、中学校では各校を巡回して理科授業の助言・指導を行う指導員を配置します。

《「国際都市おおた」にふさわしい外国語教育を目指して》平成32年度から実施される新しい学習指導要領では、小学校第3学年と第4学年に「外国語活動」が加わり、第5学年と第6学年では、「外国語」が教科になる予定です。現在、小学校の外国語活動の時間に、全学年に配置している外国語教育指導員ALTの配置時数を必要な学年に対して大幅に増やしていきます。

②「学習環境の改善」

《計画的な校舎の改築》今年度は、新たに田園調布小学校、東調布中学校の改築に着手いたします。既に設計や工事に着手している学校を含め、改築校は10校となります。施設の複合化により学校の教育機能だけにとどまらず、時代に即した機能を備え、大規模災害の際には、安全な避難所となるような校舎の建設を進めてまいります。

《ICT機器の導入》平成27年度に北菟谷小学校及び蒲田中学校をICT活用推進モデル校に指定し、全普通教室に無線LAN環境、スライドレール型電子黒板、書画カメラを整備するとともに、全教員にタブレット端末を配付し、児童・生徒用タブレット40台を配備して、授業における活用方法の研究を進めてまいりました。両校の大田区学習効果測定における期待正答率を超える割合で、ICT機器が一定の効果을及ぼしたと考えています。この成果を全ての区立小・中学校に拡げるため、ICT機器を全校に本格的に導入し、学力の

向上を目指すとともに、高度情報化社会をたくましく生き抜くための情報教育を力強く推進してまいります。

③「家庭教育力向上に向けた支援」

《家庭の教育力向上に向けた方策の検討》少子化や核家族化などにより、家庭の教育力の低下が課題となっています。家庭学習の充実のため、家庭学習研究推進校を指定して、効果的な家庭学習のあり方について研究を進めてまいります。

《不登校対策》家庭の在り方がその一因とされる子どもを巡る課題のうち、不登校については、将来の引きこもりや就労困難につながり、ひいては貧困に陥るなど、深刻な問題であるにもかかわらず、家庭だけでは解決が難しいケースが多くあります。教育委員会では、平成26年度より教育センターにスクールソーシャルワーカーを配置し、不登校を中心として、課題のある家庭への支援も含めたサポートを始めています。スクールソーシャルワーカー派遣事業について、支援した人数は129名にのぼります。そのうち80名については引き続き支援を行っています。

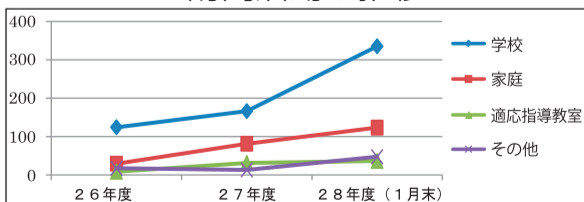
学校教育は、子どもたちの一人ひとりに、豊かな人生の基礎となる「生きる力」を身に付けさせ、成長を支援する重要な仕事であります。大田区教育委員会は、新たな取組を加えながら、「おおた教育振興プラン2014」を家庭・地域と連携し、着実に推進してまいります。

スクールソーシャルワーカーの活動

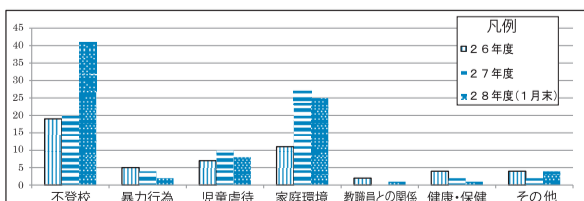
児童・生徒の不登校等学校不適応が発生している要因には、いじめ、家庭における養育上の困難、経済的困窮等の課題が複雑に絡み合っていることから、問題の解決へ向けて福祉的支援のできる専門家が関係者とともに一緒に関わっていく必要があります。

スクールソーシャルワーカーはさまざまな困難を抱えている児童生徒を支えるため、福祉の専門的な知識、技術を活用し、学校と児童相談所、子ども家庭支援センター、医療機関、福祉事務所等関係機関、地域との連携強化を図り、児童生徒、家庭に必要な支援を提供できるようコーディネーターとしての役割を果たしています。平成26年4月、教育センターにスクールソーシャルワーカーを2名配置してから、この間、28年5月に2名、さらに同年10月に1名増員し、現在5名と体制を強化しながら支援を行っています。

訪問活動の推移



主訴別分類の推移



●都モデル事業を活用し、さらなる不登校対策の充実へ

昨年10月から、東京都の補助金を活用した不登校対策モデル事業を開始し、スクールソーシャルワーカーを増員すると共に、学習や悩み等相談支援員を配置して支援チームを編成しました。中学校7校(大森第二中、大森第三中、羽田中、菟谷中、出雲中、御園中、蓮沼中)をモデル校とし、不登校の状況を把握し、専門医の助言やコーディネーター教員を中心とした個別適応計画の改善等を行うと共に、適応指導教室等との連携を図りながら、福祉的支援や学習面の相談・支援を行い、解決をめざしています。

平成29年度からは、小学校6校を加え、早いうちから家庭への支援に取り組むことで、不登校の深刻化を防止すると共に、適応指導教室においては、通室初期の送迎や学習指導等を行う若い世代の活動補助員を配置して通室しやすい環境づくりを行うほか、学習支援強化のためのタブレット端末を用いた自主学习支援システムを導入します。

【問合せ先】教育センター TEL 5748-0801 FAX 5748-1390



出典：子供の生活応援プラン

東六郷小・志茂田中

新校舎が完成しました！

学校施設の改築については、「おおた未来プラン10年」「大田区実施計画」及び「おおた教育振興プラン2014」に基づき、年2校のペースで計画的な整備に取り組んでいます。平成28年度には、改築工事を進めていた東六郷小学校と志茂田中学校の新校舎が完成しました。

東六郷小学校は、平成28年12月に新校舎がしゅん工し、すでに平成29年1月から新校舎での学校生活が始まっています。子どもたちも、新しい教室での授業に心を躍らせています。今後も、体育館の建設や、校庭整備などの工事が続き、平成31年1月に工事が完了する予定です。

志茂田中学校は、隣接する志茂田小学校と一体的に工事を進め、平成29年3月に新校舎がしゅん工しました。平成29年度からは隣接する志茂田小学校の改築工事が始まり、平成31年10月に工事が完了する予定です。

今後とも、子どもたちが安全に成長を育む場となるように、教育環境の向上を目指した学校改築事業を進めてまいります。



東六郷小学校

☎ 教育総務課施設担当 TEL 5744-1399 FAX 5744-1666

給食費や学用品購入費の一部を援助します (就学援助)

対象

小・中学生のお子さんの保護者で、大田区にお住まいの方のうち、下記のいずれかに該当する方。

- ①生活保護を受けている (要保護認定者)
- ②同一生計を営む世帯全員の平成28年中の所得の合計が認定基準所得金額に満たない (準要保護認定者)

《認定基準所得金額の目安》

世帯人数	2人	3人	4人	5人
認定基準所得	277万円	345万円	378万円	465万円

※あくまでも目安です。家族の年齢構成等によって異なります。

援助内容

- ・認定された場合は、下表の内容が受けられます。ただし、認定区分・学年及び申請月によって費目や支給額は異なります。
- ・要保護認定者 (生活保護受給者) については、下表の色部分は生活保護費から支給されるため就学援助での支給はありません。

○給食費 (国立・都立・私立学校は除く)	○学用品費
○新入学用品費 (4月申請者のみ)	○体育実技費 (購入者のみ)
○通学費 (特別支援学級 (固定) 通学者のみ)	
○校外授業費	○移動教室参加費 (参加者のみ)
○修学旅行参加費 (参加者のみ)	○クラブ活動費 (小学校4~6年生のみ)
○卒業アルバム費 (購入者のみ)	○医療費 (対象疾病のみ)

・就学援助は、認定された方に就学援助費を支給するものであり、**給食費や教材費等の学校納付金が免除されるものではありません。**

申請方法

4月上旬に学校から配布する「平成29年度就学援助費受給希望調査書(申請書)」を期日までに学校へ提出してください。なお、大田区以外の区市町村立及び国立・都立・私立小中学校に通っている場合は、下記までお問い合わせください。

☎ 学務課学事係 TEL 5744-1429 FAX 5744-1536



完成イメージ図 志茂田小・中学校

お知らせ 学校給食費の改定

給食費は、平成21年度に改定してから、7年間据え置かれてきましたが、食材の物価上昇により献立の工夫等だけでは、これまでの水準を維持することが困難になってきました。そこで、給食費について話し合うために小・中学校給食対策委員会を開催し、検討を重ねてまいりました。検討結果は「学校給食費検討結果報告書」にまとめられ教育委員会に提出されました。その報告書をさらに教育委員会で審議し、平成29年4月1日より学校給食費を改定することにいたしました。

■児童生徒1人当たりの月額給食費

		改定月額給食費 (平成29年4月以降)	改定前月額給食費 (平成29年3月まで)
小学校	低学年(1・2年生)	4,100円	3,800円
	中学年(3・4年生)	4,500円	4,200円
	高学年(5・6年生)	4,950円	4,600円
中学校		5,350円	5,000円

学校給食法及び同法施行令において、給食の実施に必要な経費のうち、施設や設備に要する経費、学校給食の運営に要する経費は公費負担とし、それ以外の経費は児童生徒の保護者が負担するとされています。このことから保護者の皆さまが負担している給食費は、すべて食材料費に充てられています。

☎ 学務課保健給食係 TEL 5744-1431 FAX 5744-1536

平成29年度外国語活動について

平成32年度から全面実施となる次期学習指導要領に対応するため、新設される小学校第3・4学年の外国語活動を段階的に先行実施します。対象は、平成32年度に第6学年となる平成29年度の第3学年です。

平成29年度は、第3学年の外国語活動の授業時数を、現在の年間12単位時間から年間35単位時間とします。それに伴い、外国語教育指導員の派遣時数は、25単位時間に増加します。

なお、平成29年度は、第4学年(年間12単位時間)と第5・6学年(年間35単位時間)について変更はありません。

☎ 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

校種	学年	平成28年度		平成29年度	
		標準時数	外国語教育指導員の派遣時数	標準時数	外国語教育指導員の派遣時数
小学校	1	8	8	8	8
	2	8	8	8	8
	3	12	12	35	25
	4	12	12	12	12
	5	35	25	35	25
	6	35	25	35	25

平成28年度大田区教育委員会 「教育実践功労者表彰」 ～受賞者の紹介～

教育委員会では、区の教育の発展に貢献し、その功績が顕著で優れた教育実践を行った教員を「教育実践功労者」としてその功績をたたえ毎年表彰しています。平成28年度は、5名の方が受賞されました。今後も大田区の教育のためにご尽力いただき、子どもたちの健やかな成長を支えていただきたいと思います。

問合先 教育総務課庶務係 TEL 5744-1422 FAX 5744-1535

※受賞者のコメント(上段)、受賞理由(下段)を紹介いたします。

加藤 昭代 主任教諭
(池雪小学校 全科)

このような立派な表彰は、私の今後の励みになります。これまでに沢山のことを教え、様々な姿を見せてくださった校長先生方・先輩方のおかげで今の自分があります。私も見せられる背中を作って行きたいと思えます。

研究主任として国語の学力向上に貢献し、また、自身の授業を積極的に公開し、若手教員の授業力向上に寄与しました。校外では、大田区教育研究会(国語部)の副部長を務め、大田区連合書写展の担当など、毛筆指導をはじめとする区内小学校の国語教育の推進に大きく貢献されました。



写真左から加藤主任教諭、折田主任教諭、小川主幹教諭、吉野主幹教諭、小菅主幹教諭

折田 和宙 主任教諭
(赤松小学校 全科)

身に余る光栄です。仲間と共に悩んだことは、必ず子どもたちの生き生きとした姿に繋がると実感しています。ご指導、ご支援くださる諸先輩方、地域、保護者の皆様に感謝するとともに、今後も自己の知見を本区に還元できるよう努めます。

研究主任として理数教育やESDの研究を推進したほか、区の「授業改善リーダー」を務め、算数科を中心とした授業改善の中心的役割を果たされました。区外では、「東京教師道場リーダー」や「東京都教育研究員」(算数科)などを務め、指導力を発揮されました。

小川 幸男 主幹教諭
(大森第三中学校 理科)

生徒会活動を通して、所属する集団を当事者として考える生徒を育てたいという思いで実践してきました。これからも、社会を創りあげていく生徒を育てることに努力していきたいと思えます。

「自律的な集団をつくることを通して、自己肯定感を高める指導の工夫」という研究を中心となつて行い、特別活動を軸に生徒会活動、学級・学年指導などを通して学校の安定に大きく貢献されました。大田区教育研究会特別活動研究部員として活動を続け、生徒会の意見交流会の企画・運営の中心となりました。

吉野 俊一 主幹教諭
(大森第六中学校 理科)

持続可能な社会を作っていくことは、今後ますます大切になります。中学生の皆さんには、その担い手として、多くを学び、経験し成長して欲しいと思います。私も微力ながらそのお手伝いをしていきます。

ESDの研究開発に尽力し、当該校のユネスコスクール加盟や文部科学省表彰受賞に多大な貢献をされました。教務主任や生活指導主任として、事務の改善や情報の共有化を図り、学校運営の安定化に寄与し、バレーボール部の顧問として都大会で5位になるなどの実績をあげ、部活動の活性化に貢献されました。

小菅 みちる 主幹教諭
(石川台中学校 国語)

このような賞をいただき、とても光栄です。周りの多くの方々に助けていただいたからこそこの受賞だと思っております。今後もいっそう精進し、大田区の子どもの教育に力を注いでいきたいと考えています。

優れた授業展開で生徒の学習意欲を向上させ、当該校の国語の学力向上に貢献されました。特別な配慮を要する生徒には、丁寧に対応して自己実現に寄与し、保護者との信頼関係を築かれました。区の「授業改善リーダー」を務め、国語科を中心に授業改善の中心的役割を果たされました。

表彰

- 第66回 “社会を明るくする運動” 作文コンテスト
“社会を明るくする運動” 東京都推進委員会委員長賞
萩中小学校 6年 林 愛菜
 - 「私の折々のことばコンテスト2016」
中学部門 朝日中高生新聞賞
糀谷中学校 2年 犬塚 杏子
 - 『心のバリアフリー』普及啓発ポスターコンクール
小学生の部 優秀賞
小池小学校 6年 高橋 明日香
- ※学校・学年は受賞時点でのものです。

第5回小学生駅伝大会 第8回中学生「東京駅伝」大会が開催されました

平成28年12月17日(土)、大田スタジアム特設周回コースにおいて、第5回小学生駅伝大会が開催されました。区立小学校から5・6年生の代表児童927名が参加し、襷をつないで全力で走る児童の姿が多くの人に感動を与えていました。観客席や特設周回コースでは、約5000人の保護者や地域の方々が、選手へ熱い声援を送っていました。今年度は区制70周年記念大会でもあり、大田区公式PRキャラクターのはねびょんも、応援に駆けつけ大会を盛り上げました。



第5回小学生駅伝大会より

平成29年2月5日(日)は、味の素スタジアム・都立武蔵野の森公園特設周回コースにて、第8回中学生「東京駅伝」大会があり、区立中学校2年生の代表選手が「大田区選抜チーム」として参加しました。男子も女子も順位を一つでも上げようと全員が粘り強く走り、控えでは他の選手を大きな声で応援する姿がみられました。結果は女子の部が第6位、男子の部が第11位、男女総合で第8位と大健闘でした。女子はチーム最高記録を出し、特別賞を贈られました。代表選手は、女子21名中15名、男子21名中14名が、小学生駅伝大会の経験者であり、小中一貫した体力向上の成果が見られています。

問合先 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

教育委員会定例会の主な議題

- 平成28年第12回定例会 平成28年12月21日(水)開催
・大田区立学校施設の活用に関する条例施行規則の一部を改正する規則
・平成28年度 第四次補正予算要求原案について
- 平成29年第1回定例会 平成29年1月19日(木)開催
- 平成29年第2回定例会 平成29年2月15日(水)開催
・平成27年度おおた教育振興プラン2014の事業実績と評価について

教育委員会定例会の開催予定日

- 日時 ①平成29年4月26日(水)午後3時から
②平成29年5月24日(水)午後2時から
③平成29年6月21日(水)午後2時から
 - 場所 蒲田5-37-1 ニッセイアロマスクエア5階 教育委員会室
- ※予定が変更になる場合があります。傍聴を希望される方は、あらかじめ下記問合先へご確認ください。
- ※手話通訳・要約筆記が必要な方は、開催日1週間前までにご連絡ください
- 問合先 教育総務課庶務係 TEL 5744-1422 FAX 5744-1535